

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~4日	10月 ~11日	10月 ~18日	10月 ~25日	11月 ~1日	11月 ~8日	11月 ~15日	11月 ~22日	11月 ~29日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	177	241	189	97	18	28	25	38	23	35	28	25 (39)	45
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	63	60	76	52	10	8	4	11	9	17	10	4	9
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	4	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	7	14	29	16	0	4	1	2	3	2	3	3 (5)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	15	15	20	13	2	2	3	5	5	5	4	2 (4)	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	14	11	17	9	0	3	1	4	2	1	3	2	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第48週(11月23日~11月29日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	2		2		2		3
三類	0	発生なし	0							
四類	6	つつが虫病	5	3				2		
		レジオネラ症	1		1					
五類	11	アメーバ赤痢	1							1
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1			1				
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1	1						
梅毒	5					2		3		
指定	91	新型コロナウイルス感染症	91	2	3	4	0	61	1	20

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

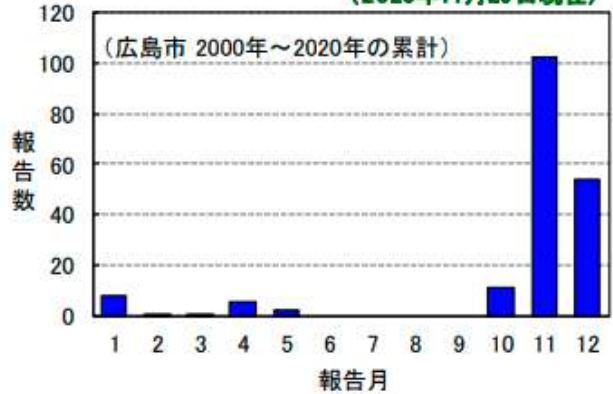
1 新型コロナウイルス感染症

第48週に61件の報告があり、11月以降報告数が増加しています(11月以降の累計報告数は141件)。全国的に感染が拡大しており、新規感染者数は過去最多の水準となっています。  
 健康管理に注意し、「3密」の回避、マスク着用、手洗い、身体的距離の確保、こまめに換気を行うなど、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

2 つつが虫病

第48週に2件の報告がありました。  
 つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)に吸着されることにより感染する感染症で、例年、11～12月にかけて報告数が多くなっています。山や草むらに入るとき、農作業を行うときは、長袖・長ズボン、帽子、手袋などを着用し、肌の露出を少なくしてダニ類の付着を防ぎ、屋外活動後は入浴してダニ類が付着していないかを確認しましょう。

つつが虫の月別報告数 (2020年11月29日現在)



【参考】つつが虫病について(厚生労働省)  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィン	インフルエンザ	-	-	2.84			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.39		
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.54			眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.85		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	3.09				急性出血性結膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	49	2.04	10.40			基幹	流行性角結膜炎	-	-	0.85		
	水痘	2	0.08	0.54				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	18	0.75	0.58				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.45				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12		
	突発性発しん	1	0.04	0.39				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	16	0.67	0.12				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	118	男性(50歳代)、女性(80歳代)
4	つつが虫病	2	4	男性(70歳代)、男性(70歳代)・市外
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	女性(50歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	55	男性(20歳代)、男性(50歳代)